

図 4(1) サイドスキャンソナー調査結果 (海底ごみ; 八戸～南三陸)

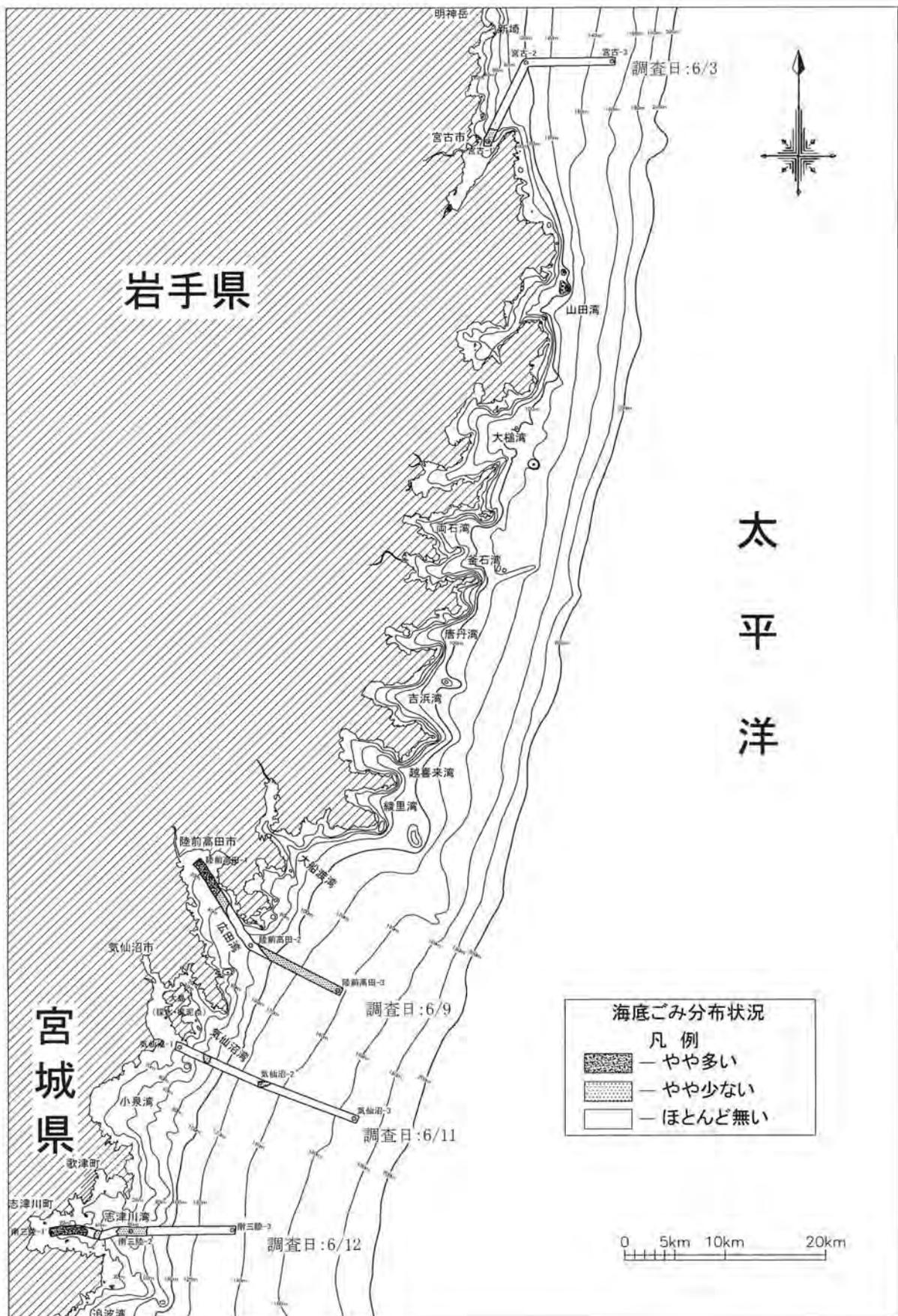


図 4(2) サイドスキャンソナー調査結果 (海底ごみ; 宮古～南三陸) (参考: 第 1 次調査結果)

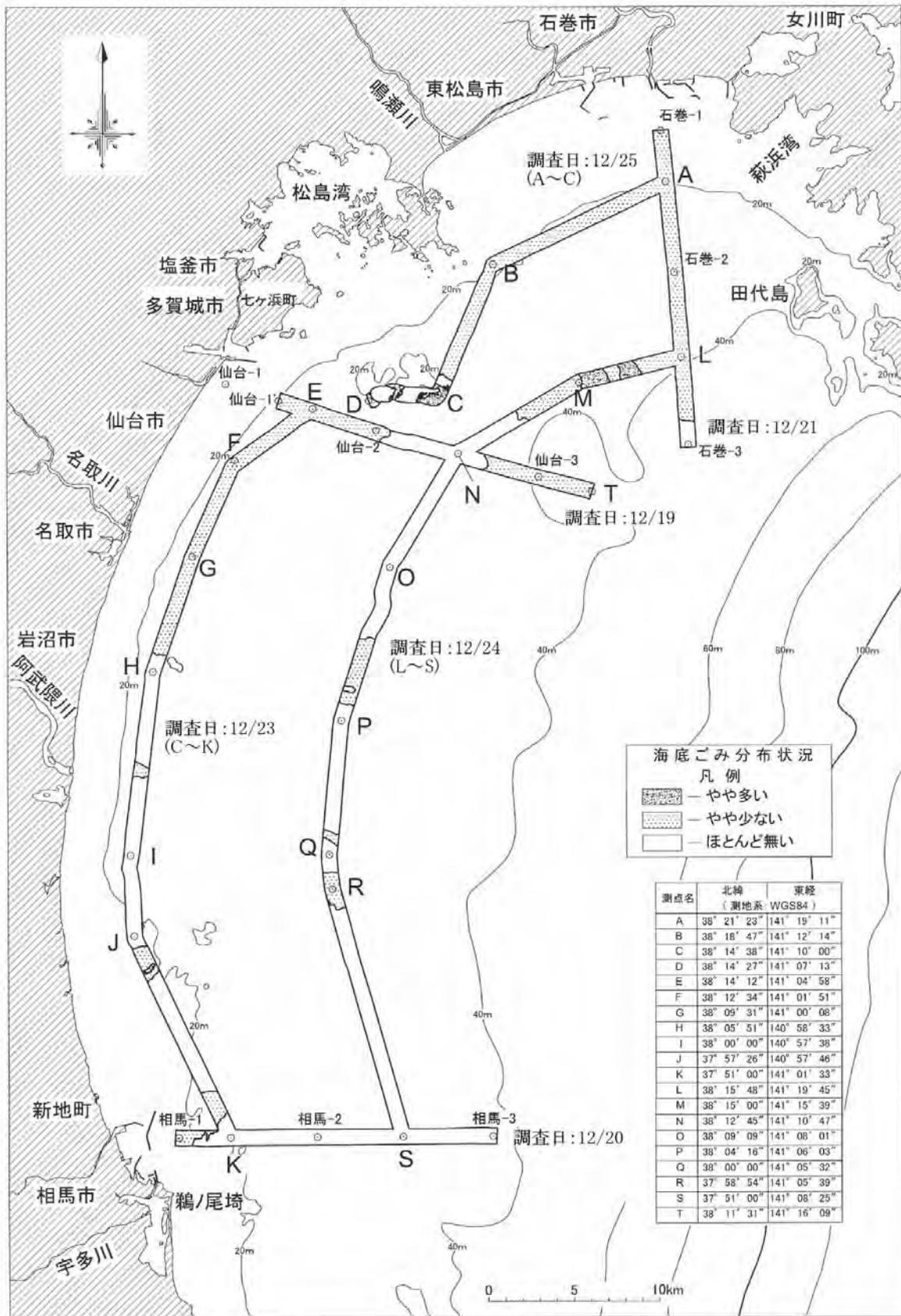


図4(3) サイドスキャンソナー調査結果 (海底ごみ; 石巻～相馬)

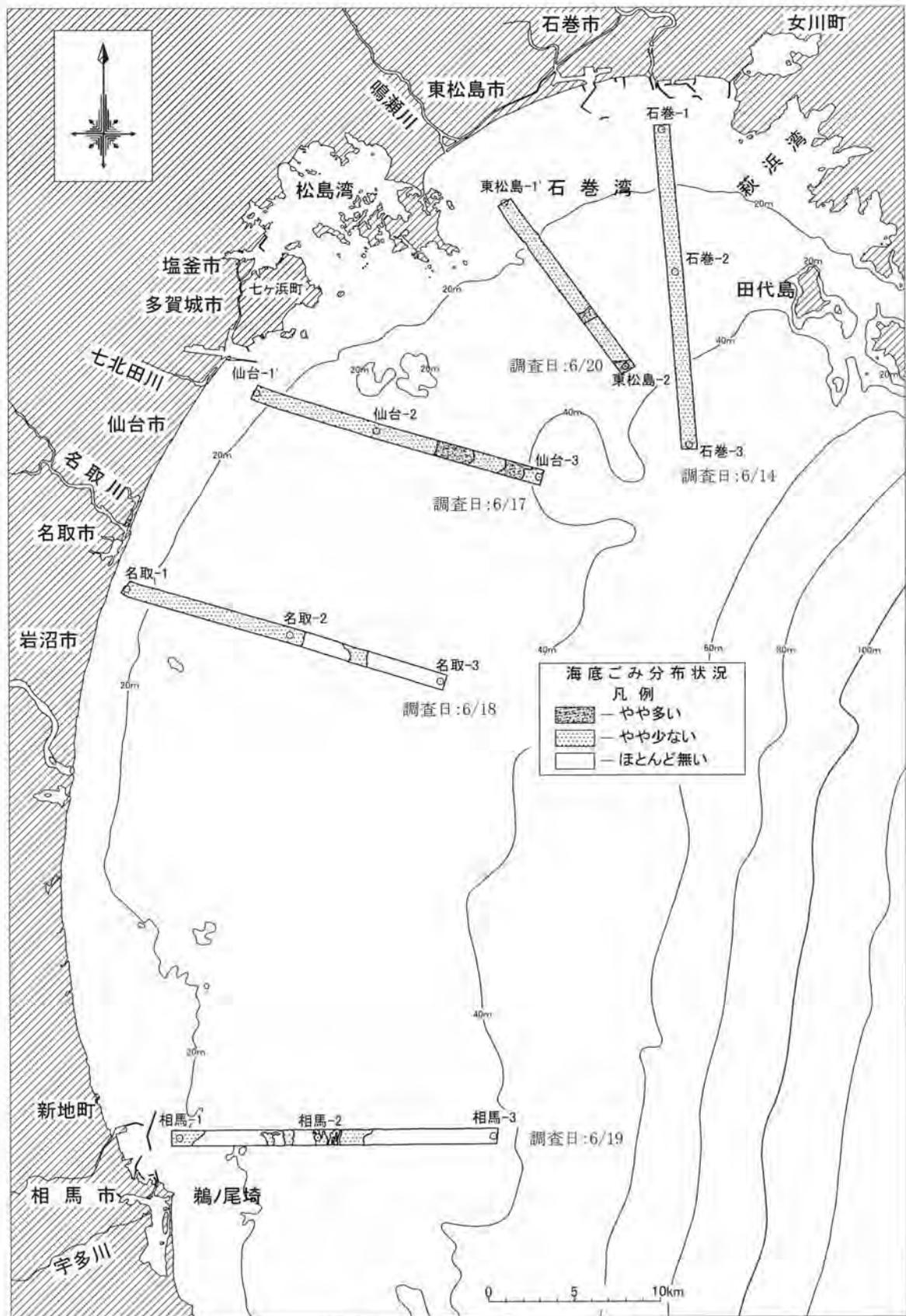


図 4(4) サイドスキャンソナー調査結果 (海底ごみ; 石巻～相馬) (参考: 第 1 次調査結果)

表5(1) 放射性セシウム測定結果（海水）

測点	採取日	水深 m	採取層 m	セシウム134 (Cs-134) Bq/L	セシウム137 (Cs-137) Bq/L
八戸-1	平成23年12月9日	23	0.5	不検出	0.0022
			19	不検出	0.0022
八戸-2	平成23年12月9日	63	0.5	不検出	0.0021
			60	不検出	0.0021
八戸-3	平成23年12月9日	87	0.5	不検出	0.0018
			84	不検出	0.0017
宮古-1	平成23年12月7日	31	0.5	0.00087	0.0024
			26	不検出	0.0022
宮古-2	平成23年12月7日	100	0.5	不検出	0.0025
			96	0.0023	0.0044
宮古-3	平成23年12月7日	151	0.5	不検出	0.0017
			150	0.0046	0.0078
山田-1	平成23年12月10日	46	0.5	不検出	0.0021
			44	0.00094	0.0022
大槌-1	平成23年12月10日	41	0.5	不検出	0.0023
			37	不検出	0.0020
釜石-1	平成23年12月11日	73	0.5	0.0010	0.0028
			71	0.00089	0.0025
陸前高田-1	平成23年12月14日	17	0.5	0.0027	0.0052
			16	0.0027	0.0055
陸前高田-2	平成23年12月14日	80	0.5	0.0059	0.0079
			77	0.0069	0.012
陸前高田-3	平成23年12月14日	140	0.5	0.0021	0.0042
			136	0.015	0.020
気仙沼-1'	平成23年12月15日	42	0.5	0.0029	0.0056
			40	0.0025	0.0055
南三陸-2'	平成23年12月16日	71	0.5	0.010	0.015
			68	0.0066	0.011
南三陸-3	平成23年12月16日	138	0.5	0.0071	0.011
			136	0.016	0.024
南三陸-4	平成23年12月16日	177	0.5	0.0049	0.0091
			174	0.020	0.029
石巻-1	平成23年12月21日	17	0.5	0.026	0.038
			14	0.034	0.043
石巻-2	平成23年12月21日	37	0.5	0.028	0.036
			33	0.018	0.027
石巻-3	平成23年12月21日	47	0.5	0.022	0.032
			45	0.015	0.024
仙台-1'	平成23年12月19日	23	0.5	0.036	0.044
			21	0.039	0.048
仙台-2	平成23年12月19日	30	0.5	0.030	0.038
			29	0.027	0.038
仙台-3	平成23年12月19日	42	0.5	0.017	0.022
			40	0.017	0.022
相馬-1	平成23年12月20日	21	0.5	0.045	0.056
			19	0.035	0.051
相馬-2	平成23年12月20日	32	0.5	0.031	0.039
			29	0.029	0.038
相馬-3	平成23年12月20日	45	0.5	0.011	0.017
			42	0.011	0.016

※1:検出限界値（約0.00086Bq/L）を下回る場合は不検出と記載。

表5(2) 放射性セシウム及びストロンチウム測定結果 (海底土)

海底土

測点	採取日	水深 m	セシウム134 ^{※1} (Cs-134) Bq/kg (dry)	セシウム137 ^{※2} (Cs-137) Bq/kg (dry)	ストロンチウム90 ^{※3} (Sr-90) Bq/kg (dry)
八戸-1	平成23年12月9日	23	不検出	不検出	不検出
八戸-2	平成23年12月9日	63	不検出	1.2	不検出
八戸-3	平成23年12月9日	88	不検出	1.1	不検出
宮古-1	平成23年12月7日	30	44	58	不検出
宮古-2	平成23年12月8日	100	1.2	2.4	不検出
宮古-3	平成23年12月8日	152	不検出	不検出	不検出
山田-1	平成23年12月10日	46	4.6	7.9	0.19
大槌-1	平成23年12月10日	41	3.9	7.3	不検出
釜石-1	平成23年12月11日	73	3.6	6.5	不検出
陸前高田-1	平成23年12月14日	17	2.0	2.7	不検出
陸前高田-2	平成23年12月14日	80	19	25	不検出
陸前高田-3	平成23年12月14日	140	22	29	0.13
気仙沼-1'	平成23年12月15日	41	140	180	0.22
南三陸-2'	平成23年12月16日	71	51	65	0.11
南三陸-3	平成23年12月16日	139	16	23	0.11
南三陸-4	平成23年12月16日	178	13	17	不検出
石巻-1	平成23年12月21日	17	130	160	不検出
石巻-2	平成23年12月21日	37	530	690	不検出
石巻-3	平成23年12月21日	47	140	180	不検出
仙台-1'	平成23年12月19日	23	770	970	0.16
仙台-2	平成23年12月19日	30	250	320	0.14
仙台-3	平成23年12月19日	42	33	43	不検出
相馬-1	平成23年12月20日	21	41	51	不検出
相馬-2	平成23年12月20日	33	37	46	0.14
相馬-3	平成23年12月20日	45	22	27	不検出

※1: 検出限界値 (約0.67Bq/kg (dry)) を下回る場合は不検出と記載。

※2: 検出限界値 (約0.83Bq/kg (dry)) を下回る場合は不検出と記載。

※3: 検出限界値 (約0.12Bq/kg (dry)) を下回る場合は不検出と記載。

ただし、検出限界値は検出器や試料の性状により測定試料毎に異なり、全試料を通じて最も高い値が0.12Bq/kg (dry) である。このため、この値を下回っても検出される場合がある。

水質汚濁に係る環境基準について

生活環境の保全に関する環境基準(生活環境項目)

ア

類型	利用目的の適応性	環境基準値(海域)		
		水素イオン濃度(pH)	化学的酸素要求量(COD)	溶存酸素量(DO)
		—	mg/L	mg/L
A	水産1級・水浴・自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	7.8~8.3	≤2	7.5≤
B	水産2級・工業用水及びCの欄に掲げるもの	7.8~8.3	≤3	5≤
C	環境保全	7.0~8.3	≤8	2≤

- (注)1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水産1級：マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用
 水産2級：ボラ、ノリ等の水産生物用
 3 環境保全：国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

イ

類型	利用目的の適応性	環境基準値(海域)	
		全窒素	全リン
		mg/L	mg/L
I	自然環境保全及びⅡ以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	≤0.2	≤0.02
Ⅱ	水産1種・水浴及びⅢ以下の欄に掲げるもの(水産2種及び3種を除く。)	≤0.3	≤0.03
Ⅲ	水産2種及びⅣ以下の欄に掲げるもの(水産3種を除く。)	≤0.6	≤0.05
Ⅳ	水産3種・工業用水・生物生息環境保全	≤1	≤0.09

- 備考1 基準値は、年間平均値とする。
 2 水域類型の指定は、海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。
 (注)1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全
 2 水産1種：水産1種：底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される
 水産2種：一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される
 水産3種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される
 3 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度

ウ

類型	水生生物の生息状況の適応性	環境基準値(海域)
		全亜鉛
		mg/L
生物A	水生生物の生息する水域	≤0.02
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	≤0.01

水質汚濁に係る環境基準について

人の健康の保護に関する環境基準(健康項目)(抜粋)

項目	単位	環境基準値	報告下限値
カドミウム	mg/L	0.003以下	<0.001
全シアン	mg/L	検出されないこと	<0.1
鉛	mg/L	0.01以下	<0.005
六価クロム	mg/L	0.05以下	<0.02
砒素	mg/L	0.01以下	<0.005
総水銀	mg/L	0.0005以下	<0.0005
アルキル水銀	mg/L	検出されないこと	<0.0005
PCB	mg/L	検出されないこと	<0.0005
ジクロロメタン	mg/L	0.02以下	<0.002
四塩化炭素	mg/L	0.002以下	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.004以下	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.1以下	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.04以下	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	1以下	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.006以下	<0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	0.03以下	<0.003
テトラクロロエチレン	mg/L	0.01以下	<0.001
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	0.002以下	<0.0002
チウラム	mg/L	0.006以下	<0.0006
シマジン	mg/L	0.003以下	<0.0003
チオベンカルブ	mg/L	0.02以下	<0.002
ベンゼン	mg/L	0.01以下	<0.001
セレン	mg/L	0.01以下	<0.002
1,4-ジオキサン	mg/L	0.05以下	<0.005

※「検出されないこと」とは、測定方法の定量下限値(全シアン:0.1mg/L、アルキル水銀及びPCB:0.0005mg/L)を下回ることをいう。

ダイオキシン類による大気汚染、水質汚濁

媒体	単位	基準値
水質 (水底の底質を除く。)	pg-TEQ/L	1以下
水底の底質	pg-TEQ/g	150以下

底質の暫定除去基準について

PCBを含む底質の暫定除去基準値(底質の乾燥重量当たり)(抜粋)

媒体	単位	基準値
底質	ppm	10以上

※魚介類のPCB汚染の推移をみて更に問題があるような水域においては、地域の実情に応じたより厳しい基準値を設定するよう配慮すること。